

公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団

2014年度（前期） 在宅医療助成 一般公募

「在宅医療研究への助成」 報告書

テーマ：在宅医療における実践的薬物療法研究会  
自宅で安心して療養を行うために薬局薬剤師はいかに  
対応するべきか

りんご薬局 立花店 勝野純子

提出日：2015年8月13日

公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団  
理事長 住野 勇 様

りんご薬局 勝野純子

この度、下記の通りに研究会を開催いたしましたのでご報告申し上げます。

## 記

1.研修会名：すみだ在宅薬物療法研究会

～住み慣れた家で安心して薬物療法を継続するために、私たち医療従事者に必要なスキルを再確認する

2.対象：薬剤師他、医療従事者

3.後援：墨田区薬剤師会

4.研修内容ほか詳細

第1回 在宅における注射療法「高カロリー輸液の基礎と実際」やままる薬局 山丸淳先生

「在宅点滴利用者さんの現状」 訪問看護ステーションみけ 椎名美恵子先生

「臨海薬局での無菌調剤室の共同利用について」江戸川区薬剤師会臨海薬局小野幸夫先生

「茨城の薬局から～症例報告」 ねもと薬局 根本みゆき 先生

開催日時：平成26年9月21日 13:30～16:10

開催場所：すみだリバーサイドホール 会議室

参加者：参加者43名、内墨田区11名

第2回 在宅における注射療法「在宅注射療法による緩和ケアの基礎」

～より良い緩和ケアのために必要な医療用麻薬によるPCA（自己調節鎮痛法）について  
あけぼの薬局 在宅支援室長 坂本岳志先生

「病院の緩和ケア病棟における薬剤師業務」慶応大学病院緩和ケアセンター 金子健先生

開催日時：平成26年11月9日 13:30～16:00

開催場所：東京都江戸東京博物館

参加者：参加者76名、内墨田区16名

第3回 「褥瘡の病態と薬物療法の基礎」～ドレッシング剤や栄養管理も含めて

国立病院機構西群馬病院 褥瘡学会評議委員・認定褥瘡薬剤師 荒木玲子先生

①ヒップモデル（荒木先生）

②ドレッシング剤について 東京医科大学病院 認定褥瘡薬剤師 関根祐介先生

③症例検討 石川島記念病院 認定褥瘡薬剤師 佐藤裕先生

「衛生材料の保険請求について」 横浜市サン薬局 奈良健先生

開催日時：平成 27 年 2 月 1 日 13：30～16：00

開催場所：墨田区曳舟文化センター

参加者：参加者 76 名、内墨田区 16 名

## 感想

在宅薬物療法に関連して 3 回の研修会を企画し、延べ 177 人のご参加をいただいた。地域包括ケアを中心として、地域医療における薬局薬剤師の業務は大きく変化している。そして求められる役割は拡大するものの、日常業務をしながら新しいスキルを身につけるのは非常に困難である。そこで身近な墨田区内で安く在宅薬物療法に関する勉強をしたいと思ったのがこの研究会を立ち上げた理由となる。高カロリー輸液・モルヒネの持続皮下注・褥瘡治癒のための手技はどれも手軽に参加できる研修会は無く、しかも学生時代の講義も記憶に疎い。そこで今回はリアリティのある手技を交えての実践的な講義となった。

中心静脈栄養や麻薬の持続皮下注は、今後需要が増えると思われるが、現在はまだ一部の薬局でしか取り扱っていない。どんな薬局がどのように注射調剤に取り組んでいるのかを具体的に見て学ぶ機会が必要だと想定される。また褥瘡に関しては在宅で実際に塗布することを想定し、外用薬の塗布に関する服薬指導が重要なことを再認識した。

また今後広がる多職種連携を意識して幅広い方々にお声かけをさせて頂き、様々なネットワークを通じて訪問看護師、薬科大学の先生、病院のソーシャルワーカーを含めて沢山の職種の方のご参加を頂くことができた。

参加者より「患者様に薬を渡すことはあっても現場で薬がどのように使われているか見ることがありませんでした。今後在宅に行くにあたって必要となる知識であると思うので今回の研究会はとても良かったです」というアンケートコメントもあり、在宅薬物療法に必要とされる研修をこれからも開催していきたいと考えている。

以上

今回の開催は、公益社団法人在宅医療助成 勇美記念財団の助成を受け、無事に開催することが出来ました。心より感謝申し上げます。

### 第1回 研修風景～TPAバッグの開通



- 症例検討～病院より退院処方の依頼
- ① ネオバレン2号 1500ml
  - ② エレメンミック注 1A 以上兼注 7日分
  - ③ ヘパリンNaロック用100単位/mlシリンジ 10ml 1本
  - ④ テルフュージョンポンプ用チューブセット (TS-P541F076) 1本
  - ⑤ ニフロ コアレシニードルセット (CFW-22G×5.8-100) 1本
  - ⑥ デカダーム<sup>®</sup>LV トランスヘアレント ドレッシング 8.9cm×10.5cm 1枚
  - ⑦ 内服薬 7日分
  - ⑧ 外用薬

### 第2回 研修風景～PCAポンプのデモンストラーション



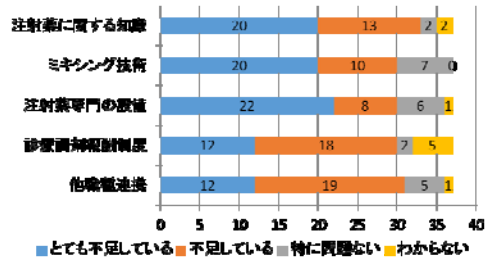
講義概要  
在宅患者に対する持続皮下注入  
メリットとデメリット  
オピオイドを注射に切替える  
各社ポンプの違い  
オピオイドの換算とスイッチング  
薬剤師ができる処方提案

### 第3回 研修風景～ヒップモデル

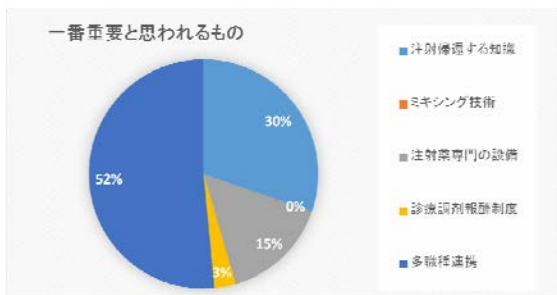


研修概要～褥瘡が出来る原因  
褥瘡局所治療ガイドラインで推奨されている  
外用薬  
DESIGN-R  
体位変換とポジショニング  
基材による薬物療法の提案: 薬剤の停滞障害  
褥創治療のチーム医療、低栄養への対応  
ドレッシング剤の実習

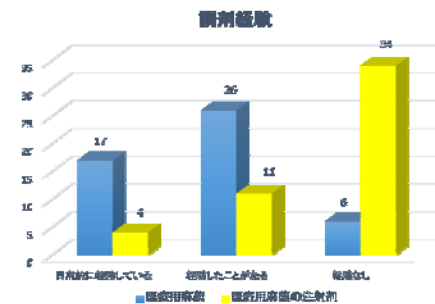
### アンケート結果① n=37 在宅で注射療法を継続するための課題



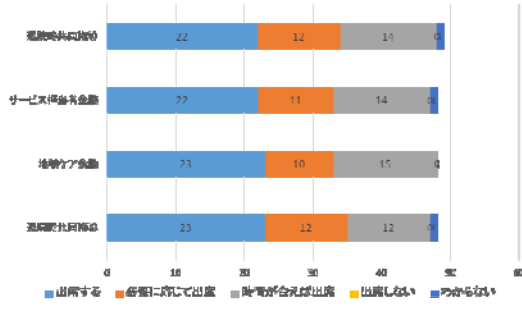
### アンケート結果① n=37 在宅で注射療法を継続するための課題



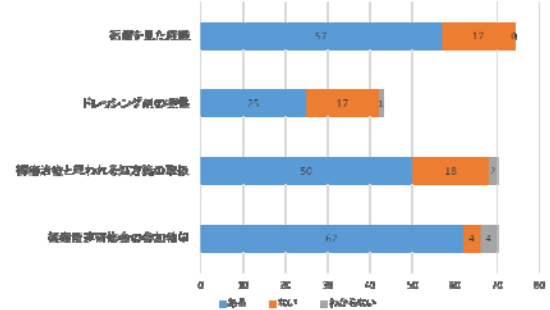
### 第2回アンケート結果 医療用麻薬の調剤 n=50



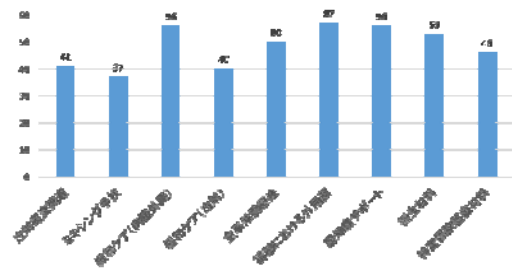
第2回アンケート結果 n=50  
会議の開催通知が来たらどうしますか



第3回アンケート結果 n=76  
褥瘡に関して



居宅療養・訪問薬剤管理指導を算定するのに必要なスキル n=76 複数回答可



アンケート内容のひとつとしては居宅療養・訪問薬剤管理指導を算定するために必要なスキルは何か?という質問について、緩和ケア、認知症サポート、褥瘡における外用薬の使用法、食事栄養療法関連、特定医療材料、衛生材料が上位となった。

高カロリー輸液の基礎と実際  
アンケートコメントより

- わからないことだらけでした。
- 輸液製剤を調剤するため理解すべきことを、質問を交えた形で順序だてて説明していただけて、大変分かりやすく聞かせていただきました。
- 講義を聴くだけではなく、実際に触れることが出来たことは、有意義でした。
- 江戸川区(会営薬局内無菌室の共同利用)の話が聞けてよかったです。
- いろいろな地区からの参加があり、また在宅の知識もバラバラで意見交換は大変有意義でした。

「在宅注射療法における緩和ケアの基礎」アンケートコメント

- 緩和ケアに対する勉強ができました。また薬局薬剤師会に係わる在宅輸液療法に対する知識が増えてよかったです。
- 今回も実物を見ることができて非常に勉強になりました。
- なかなか麻薬注射を扱っていないため新鮮な情報を頂きありがとうございました。
- 普段業務では扱うことの無い分野について学ぶことができ大変有意義な研修会でした。
- 持続皮下注への換算方法がよく理解できなかった。

褥瘡の病態と薬物療法の基礎  
アンケートコメント

- 褥瘡を見た経験が無いので今回の会に参加できてよかったです。今回のように在宅に必要な勉強をしていければ良いです。
- 実際にゲーベンクリーム、オプサイトを使わせて頂き、とても印象に残った。薬の使い分けについて、もう少し勉強したい。
- DESIGNの評価等初体験させて頂きました。
- 薬剤師会等で余りやらなかった研修だったので非常に参考となる点が多くありました。
- 実技などを含めた勉強会で大変良かったです。